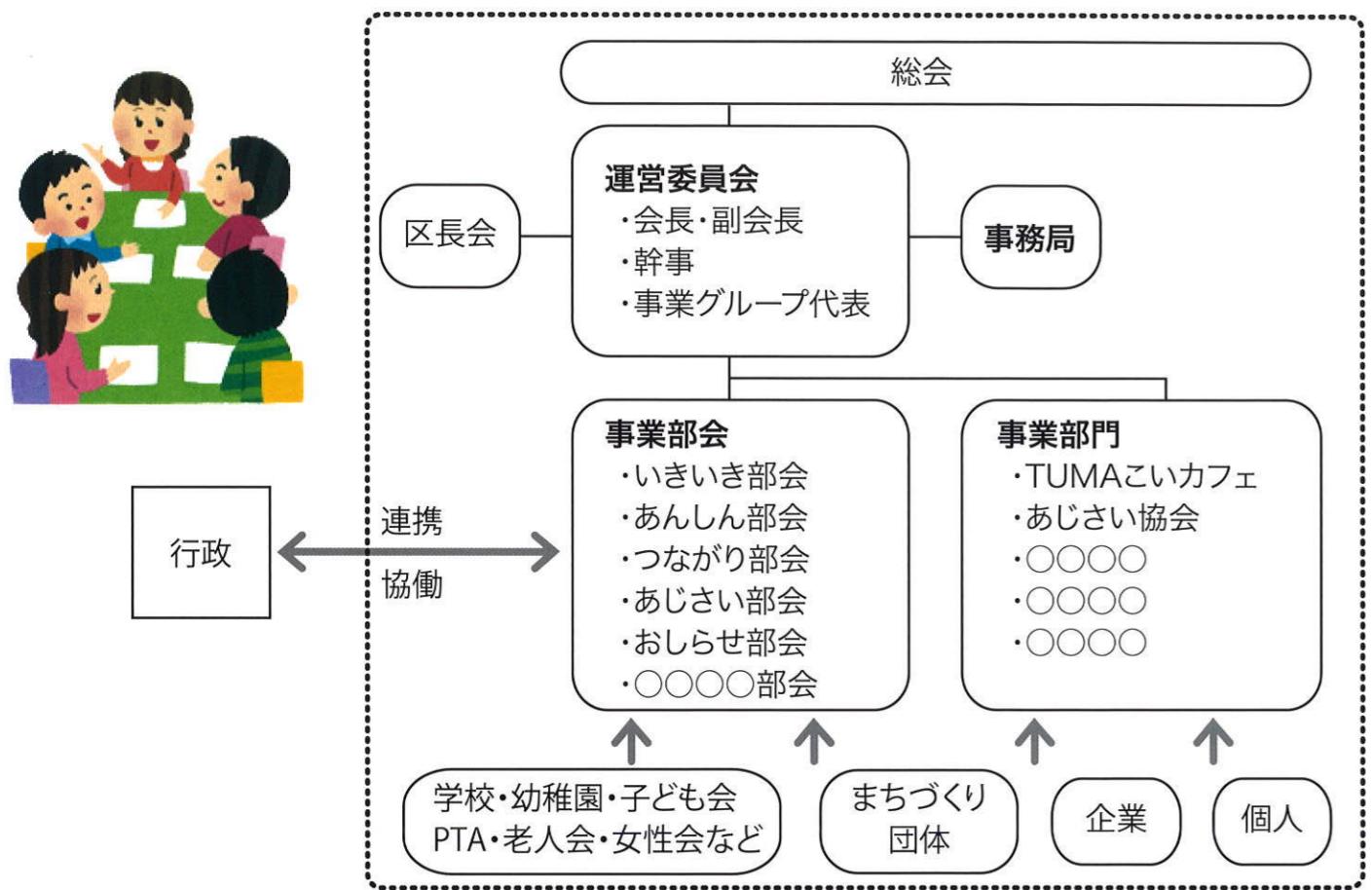


まちづくりを進める体制

津万地区においても少子高齢化や人口減少がどんどん進んでいます。皆さんのがいつまでも津万地区に住み続ける為には、自分たちの暮らしを地区という単位で考え、地区的総合力を高めていく必要があります。

今までよりさらにいろいろな人や組織の参画のもとにまちづくりを進められるように「地域自治協議会」の設立を検討します。

■地域自治協議会のイメージ



☆これはあくまでイメージ図です。

今後、様々な団体と協議し、地区の実情に最も即した組織の設立を目指します。

具体的な取り組み

平成29年度から、主に次の取り組みの具体化を検討します。

| 項目 | 内容 |
|-----------------------------|--|
| ○空き家や遊休農地の活用 | 休耕田を活用し、市民農園やどろ田サッカーなどのイベントを。 空き家を活用し、高齢者者のシェアハウスに。 |
| ○高齢者や子どもの見守り・ 買い物支援を考える | 買い物支援の具体策を研究。 多世代で子育て支援を話し合う。 |
| ○あじさい園をもっと活用 | 津万地区をあじさいの花でいっぱいに。休耕田を活用。 多くのボランティアを養成。 |
| ○交流を大切にしながら ウォーキングで体力づくり | 新しい市役所周辺から津万地区へのウォーキングロード整備。 天神池周辺をウォーキングロードに。 |
| ○地域自治協議会の設立 | 検討委員会をつくり継続的に研究・検討。 |

生き生きTUMA未来予想会議 第2期津万地区まちづくり計画

人が生き生き まちが生き生き 笑顔あふれるTUMAの里 オール津万 みんなで創るまちづくり

津万地区の現状

私たちの住む津万地区は、かつて「都麻乃郷」と呼ばれた田園地帯。歴史と自然に恵まれた地域です。

近年は国道175号のバイパス建設が進み、病院・官公庁・商業施設も充実していますが、公共交通などの移動手段は不足しています。また、防災面の対策、高齢者や子どもの見守り、少子高齢化や人口減少によるコミュニティの希薄化など、課題は大きいものがあります。

安全・安心で魅力のある環境を守り育て、次の世代に残していくことが私たちに求められています。

以上のようなことを念頭に置き、まちづくり計画検討委員会の名称を「生き生きTUMA未来予想会議」としてこれからまちづくりの目標と取り組みを検討してきました。

生き生きTUMA未来予想会議の目的と役割

- 9年前に策定した「第1期まちづくり計画」を建設的に批評し、10年～20年先の津万地区を見据えた新しい将来の課題を解決するためのアイデアや目標を設定し、「第2期まちづくり計画」を策定する委員会です。
- 新しい計画を実現するための活動計画についても今後検討していきます。

生き生きTUMA未来予想会議のあらまし

| 開催日 | テーマ | 会場 | 会議の様子 |
|-----------------|----------------------------------|----------------|-------|
| 第1回 平成28年6月22日 | 「津万地区を知ろう」 | 大野隣保館 | |
| 第2回 平成28年7月20日 | 「前計画を建設的に評価」 | 上野会館 | |
| 第3回 平成28年8月18日 | 「こんな津万地区をつくりたい」 | 大野隣保館 | |
| 第4回 平成28年9月21日 | 「まちづくりの進め方 課題解決のためのアイデアの積み上げ」 | 上野会館 | |
| 第5回 平成28年10月19日 | 「まちづくりの進め方 課題解決のためのアイデアの積み上げ」 | 大野隣保館 | |
| 第6回 平成28年11月14日 | 「課題解決のためのアイデアの絞り込み」 | 上野会館 | |
| 第7回 平成28年12月13日 | 「計画の素案検討」 | 大野隣保館 | |
| 平成29年1月14日 | 先進地視察 いくの地域自治協議会 | 朝来市生野町 | |
| 第8回 平成29年2月14日 | 「計画の概要・地域自治協議会について」 | 上野会館 | |
| 平成29年3月12日 | 先行イベント 春こいフェスティバル | 西林寺 あじさい園周辺 | |

平成28年度1年間をかけて、活き生きTUMA未来予想会議では、皆で地域の課題を洗い出し、その課題のうち「地域のみんなで解決できるもの」を探し出し、課題解決の方法を考え、地区まちづくり計画としてまとめました。今後は、この計画をもとに津万地区をよりよいまちにしていくための具体的な活動計画をつくり、実際に取り組んでいきたいと考えています。

1. みんなが仲良く、安心して暮らせるまちづくり ～地域全体が家族のように暮らせるまちに～

解決したい現状の課題

- ・地域から出していく若者が多く、地域の元気がなくなりつつある
- ・高齢の皆さんが多くなり、地域活動への参加がしにくくなっている
- ・皆で集まる機会が減っていて、地域内の交流が減っている

こんな風なまちになるといい 「地域の皆が家族のように仲良く、声をかけあってくらせるまち」

<取り組み方針>

- ・安全に、安心して暮らせるまちにする
- ・家族が一緒に住めるまちにする
- ・雇用を創出し、若い人が暮らしやすいまちにする
- ・子育てに協力し、子供の声がきこえるまちにする
- ・人のつながりを活発にし、地域の皆が気軽に交流できるまちにする
- ・地域で介護について考える
- ・近所づき合いを活発にし、高齢者の介護・見守りに地域で取り組む

2. 生活が便利で誰もが住みやすいまちづくり ～公共の施設や移動手段が充実した便利なまちに～

解決したい現状の課題

- ・年をとって運転免許を返納したら、移動手段に困ることになる
- ・医療福祉施設や商業施設は充実しており、移動手段を別にすればさほど困っていない
- ・ゴミの分別回収が徹底されておらず、近隣の迷惑になっている場合がある

こんな風なまちになるといい 「公共施設が充実していて移動手段に困らない、便利にくらせるまち」

<取り組み方針>

- ・お年寄りが運転しなくても生活できるようにする
- ・移動手段の選択肢を増やし、便利に移動できるようにする
- ・高齢者が車を運転できなくなつても困らないようにすることで、高齢者の交通事故をなくすように取り組む
- ・買い物やサービス施設などをさらに充実させる
- ・地域美化につとめる・地域の美化に取り組む

みんなが活き生きと暮らしていけば、まちもきっと活き生きとしてくるでしょう。そうなれば、津万は皆の笑顔あふれるステキな地域になるでしょう。まちづくりでは、地域に住む住民ひとり一人が主体的に関わることが重要です。津万地区の住民のできるだけ多くの皆さんにまちづくりに参加していただきたいという思いを込め、まちづくり計画のタイトルを「オール津万 みんなで創るまちづくり」としました。

3. 地域愛にあふれるまちづくり ～みんなが参加し協力し合う、元気のあるまちに～

解決したい現状の課題

- ・子供会や老人会などの活動が少なくなり、地域の元気がなくなっている
- ・高齢の皆さんが多くなり、地域活動への参加がしにくくなりつつある
- ・皆で集まる機会が減っていて、地域内の交流が減っている

こんな風なまちになるといい 「みんなが支え合い、みんなが元気にくらしているまち」

<取り組み方針>

- ・地域への愛着を育てる
- ・地域活動に参加する人が増えるようにする。参加意欲を高める
- ・人権に対する意識を高め、活動を活発にする
- ・若い人や女性に地域活動、ボランティアを促し、役員として活躍してもらう
- ・地域活動への参加意欲を高め、役員やリーダーになる人材を育てる

4. 地域の資源を活かした魅力あるまちづくり ～地域の問題も魅力と捉え活用できるようなまちに～

解決したい現状の課題

- ・あじさい園はたくさんの観光客を集めしており、この魅力をもっと活かしたい
- ・空き家や空き地・遊休農地が増加している
- ・大雨などの自然災害や、がけ崩れ等の心配のある地域がある

こんな風なまちになるといい 「地域の魅力をもっともっと発信していくまち」

<取り組み方針>

- ・あじさい園を大切にし、活動を広げ、魅力を発信する工夫をする
- ・空き家、休耕田、廃工場などの使われなくなつた施設を地域のために活用する
- ・後継者不足の問題などを解決し農業を再生する
- ・市街化調整区域の問題を解決する
- ・自然災害に備え、防災訓練など、地域防災の取り組みを充実する